

1. 事業の位置付け

事務事業名	景観計画・景観条例策定事業		
事業担当	まちづくり政策部 まちづくり政策課		
予算科目	01-080401-040000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等	景観法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民や事業者が、景観計画の内容や景観条例の仕組みを活用し、平塚らしい良好な景観づくりに取り組んでいます。		景観法を活用し、これまでの景観行政をより一層推進するため、景観法に基づく景観計画を策定するとともに、計画の実効性を確保するための景観条例を制定します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パブリックコメント実施回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	-			
活動指標②	指標名	市民などへの周知手段数						単位	回
	説明・算定式	ホームページ、広報紙、パンフレットによる周知							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3	3	3			
成果指標①	指標名	景観計画・条例策定進捗率						単位	%
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			100	100	-			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	同時期に策定を進めている他条例や計画との調整を行ったため。							
平成19年度の主な取組と成果									
市民意見の反映や関連条例・計画との整合を行い、景観計画案・景観条例案の策定作業を進めた。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	景観に対する市民意識の高揚とともに景観行政の一層の推進が求められている。景観法に基づく景観行政団体に指定された市が、法に基づく景観計画・条例を策定するものである。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	これまでの要綱に基づく取り組みを景観法に基づく取組へと移行・継続することにより、より一層の良好な景観形成の推進を図るものであり、総合計画や都市マスタープラン等の上位、関連計画に即するものである。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法的な根拠や強制力を持つ景観行政の推進により、効果的な景観形成の推進を図るものである。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	景観計画、景観条例の制度や仕組みを整備し、効果的・効率的な景観行政を推進する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

#### 今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。策定後の景観計画・景観条例の仕組みの効果的な運用に取り組む。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				景観計画・景観条例策定事業	計画の進行管理及び条例の運用	計画の進行管理及び条例の運用		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	7,980	1,039	360	0	0
事業費 (A)		0	0	7,980	1,039	360	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	199.50				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.30	1.30	1.30	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	10,909	10,909	10,909	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	18,889	11,948	11,269	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

#### 平成21年度の事業の方向性

○現状の規模で継続    ●拡大して継続    ○縮小して継続    ○廃止    ○休止    ○終了    ○他事業と統合

#### <判断理由>

景観計画、景観条例に基づく制度や仕組みを整備し、効果的な景観形成の推進を図る。

#### 平成21年度取組方針

景観重点区域を中心とした市民の景観づくり活動への支援の充実とともに、景観アドバイザー制度の効果的な活用により、良好な景観形成の促進を図る。

#### 課長コメント

景観法の策定など、景観に対する意識が全国的に高まっており、本市も景観行政団体として、景観施策の一層の推進が期待されています。景観計画や景観条例の早期策定が必要であると考えます。